

年 組 ( 番 ) 名前

記入日 月 日

# コロナ下 食パン好調

食パンの売り上げが増えている。前からの「高級食パン」ブームに加え、コロナのため外出を控えることで、家庭で食パンを買う金額が増え、2020年に食パンを買うのに使った金額は前年と比べ4%ほど増えた。一方、外出先で食べられることが多かった総菜パンや菓子パンは落ち込んでおり、明暗が分かれている。

## ■「プチ贅沢」

東京・銀座の食パン専門店「銀座に志かわ」。銀座本店に並ぶのは「水にこだわった高級食パン」だけだ。1本(2斤)税込み864円と安くはないが、独特の甘さと耳までおいしく食べら



外出自粛の広がりや、家庭向けの需要が高まっている「高級食パン」

れる柔らかさが人気を集める。30歳代の女性会社員は「コロナ下の『プチ贅沢』です」と話す。20年2月、21年1月の売り上げは、前年と比べ12・3%伸びた。食パン専門店では13年頃から注目を集め始めた。1本1000円前後が中心で、贈りものとして買う人も多い。

普通の食パンも好調だ。スーパー大手「イオンリテール」では、20年の売り上げが5%ほど増えた。朝食に自宅で食べる機会が多い食パンは、ほかの種類のパンと比べて値段が安く、冷凍保存して焼いて食べられる。在宅時間が長くなり、

手に取る人が増えたようだ。

## ■総菜パンは苦戦

総務省の家計調査によると、2020年の1世帯(2人以上)あたりの食パン(バターロールなども含む)を買うのに使った金額は1万327円で前年比4・2%増だった。一方、総菜パンや菓子パ

ンなどは4・5%減の2万6568円と落ち込んだ。総菜パンなどは食パンと違い、オフィスなどの外出先で昼食や夕食、間食時に食べられることが多かった。「外出自粛やテレワークが広がり、コンビニで買われなくなった」(製パン大手)という。

調査会社「インテージ」によると、20年に総菜パンや菓子パンが食卓に並ぶ割合は19年と比べて6・5%減った。専門家の玉置亮氏は「自宅に子どもがいる時間が長くなり、総菜パンなどの代わりにボリュームのある料理を作る機会が増えた」と分析する。

- 1 この記事には、パンの種類によって売り上げの「明暗が分かれている」ことが書かれています。「明」と「暗」に当てはまるパンの種類をそれぞれ書きましょう。

明:

暗:

- 2 この記事にはいろいろな数値が出てきます。①～④の数値は、それぞれ何を示していますか。ア、イ、ウ、エの中から当てはまるものを全て選びましょう。

ア：高級食パンが売れていること  
イ：普通の食パンが売れていること  
ウ：総菜パンや菓子パンの売り上げが減っていること  
エ：食パン全体が売れていること

- ① 「銀座に志かわ」の食パンの売り上げ ( )  
② スーパー大手「イオンリテール」の食パンの売り上げ ( )  
③ 総務省の家計調査 ( )  
④ 調査会社「インテージ」による調査 ( )

- 3 記事の内容を説明した文章のうち、正しいものを全て選び、番号で答えましょう。

(2021年4月10日  
読売新聞夕刊より)

- ① 食パン専門店は、コロナ下で注目を集め始めた。  
② テレワークが広がり、プチ贅沢として総菜パンを食べる人が増えた。  
③ 外出自粛により、コンビニで総菜パンが売れなくなった。  
④ 自宅で朝食に食べるパンが、食パンから総菜パンや菓子パンへと変わってきた。